

西大和つうしん

2018年8月号

No.434



御在所岳山頂付近から鎌ヶ岳の雄姿を望む 《2018. 6. 24》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第434号 (2018年8月号)

【目次】

8月度山行計画／8・9月度の夏山自主山行予定.....	1
7・8月度カレンダー.....	2
山行報告	
・例会山行 《6/24》 鈴鹿山脈 御在所岳(永井).....	3
・例会山行 《7/1》 北摂の山 妙見山(林).....	3
・自主山行 《7/1-5》 北アルプス 蝶ヶ岳・常念岳(中・橋本・玉越).....	4
2018年度第3回運営委員会議事録(6/27).....	7
室内例会だより(6/27).....	7

8月度山行計画

～珍しい廃線路とトンネル歩き～

～トンネルでは、普段にあまり使わないヘッドランプを使ってみましょう～

例会山行1 武田尾・宝塚 《武庫川峡谷・大峰山》

【日程】8月19日(日) (L中)

【集合】JR西宮名塩駅 8:30

【交通】王寺 7:11→7:50 大阪 7:54→(丹波路快速篠山口行)→8:24 西宮名塩

【コース】JR西宮名塩駅～親水広場・桜の園ハイキング道口～どんぐり道～東屋～大峰山～東屋～武田尾駅

※ 歩行時間：4時間43分

※ 時間が短いので希望者のみですが基本のロープワークを練習します。

★8月・9月の夏山自主山行予定

- ・8月5日(日)～8日(水)：L 島崎
西鎌尾根～槍ヶ岳～大喰岳～中岳～南岳(北アルプス)
- ・8月15日(水)～19日(日)：L 亀高
燕岳～大天井岳～常念岳～蝶ヶ岳～徳本峠(北アルプス)
- ・8月24日(金)夜～28日(火)：L 野路
折立～薬師岳～室堂(北アルプス)
- ・9月18日(火)～25日(火)：L 島崎
羅臼岳・知床五湖・十勝岳(北海道の山)

西大和山の会 カレンダー

8 月		9 月					
1	水			1	土		
2	木			2	日		例会山行2(県連・広域搜索訓練)
3	金			3	月		
4	土			4	火		県連理事会
5	日			5	水		
6	月			6	木		
7	火			7	金		
8	水			8	土		
9	木			9	日		例会山行1《龍門岳》(勝尾)
10	金			10	月		
11	土			11	火		
12	日			12	水		
13	月			13	木		
14	火			14	金		
15	水			15	土		
16	木			16	日		暑気払い
17	金			17	月		
18	土			18	火		
19	日	例会山行1《大峰山・武庫川溪谷》(中)		19	水		西大和つうしん原稿締切
20	月			20	木		
21	火			21	金		
22	水	西大和つうしん原稿締切		22	土		例会山行2・テント泊山行《西穂高岳》(杉森)
23	木			23	日		
24	金			24	月		
25	土			25	火		
26	日			26	水		9月度室内例会
27	月			27	木		
28	火			28	金		
29	水	7・8月度室内例会		29	土		
30	木			30	日		
31	金	県連遭難対策会議					

山行報告

例会山行2

鈴鹿山脈 御在所岳 1,212m

【日 程】6月24日(日) 曇りのち晴れ

【参加者】L 杉森・SL 田中悦・橋本・亀高・船江・野路・中・永井・岩田(9名)

【コース】一の谷登山口(8:50)～見晴し台(9:50)～鷹見岩(10:24)～山上広場(11:00)～御在所岳頂上(11:13/12:12 昼食)～山上広場(12:25)～キレット(13:33)～おばれ石(14:07)～登山口(14:21)

上牧町役場前駐車場に集合した時は小雨状態。雲も重く垂れ込み天候が心配されたが、晴れるとの予報を信じ目的地に向かう。

登山口に到着ヒル対策としてスパッツを着け、歩荷訓練のために負荷をかけたザックを担ぎ、曇り空の下を歩きだす。大きな岩や石が多くきつい登りが続く。木の幹や枝を手でつかみながら急登をしのぐ。今日は、ロープウェイが夏の行楽シーズンを前に点検で停まっており、一般の観光客は少なく若いハイカーのグループが多い。登頂の途中、鷹見岩という大きな岩があった。太古の昔の地殻変動を起こした強大な自然の力が思い起こされる。遠くに鎌ヶ岳の雄姿が見える。

山上広場に着くと、広くてなだらかな台地



があり御在所の山頂へと向かう。雲が少なくなり青空がまぶしい。望湖台と富士見岩から眺めを楽しむ。残念ながら琵琶湖は見えなかったが、素晴らしい眺望で、ここまで登ってきたご褒美と思うとうれしい。再び山上広場に戻り、スキー場のリフト乗り場(これも停止中)で昼食をとる。

下りは中道ルートである。登りと同様急こう配である。慎重に足の置き場を考えながら下る。しかし、元気な若者が猿山の猿のように駆け下りていく。真似は厳禁! 標高900mのところキレットがある。岩を登り終わると強風が待っていた。吹き飛ばされそうになる。ここからは、大岩・奇岩がゴロゴロしている。おばれ石という二つの大岩が斜めに並んで立っている。微妙なバランスの上に巨石が座っているのだ。倒れないようにハイカーが小枝でつかえ棒をしている。洒落たあそび心に思わず笑いがもれる。

朝の雨が嘘のように晴れて快晴になり、ヒルも出現せず快適な山行だった。いい景色を堪能し、いい汗をかくことができた。リーダーに感謝します。登山を終えてアクアイグニス片岡温泉に寄り、今日一日の汗を流した。

(記：永井章夫)

例会山行1

北摂の山 妙見山 660m

【日 程】7月1日(日)

【参加者】CL 永井・SL 島崎・田中悦・田中初・林・亀高・杉森・野路・岩田(9名)

【コース】妙見口駅(9:25)～《大堂越コース》～ケーブル黒川駅(9:45)～大堂越(10:20)～妙見山(11:25/12:00 昼食)～《初谷溪谷コース》～初谷分岐(12:31)～大堰堤(13:30)～妙見口駅(14:20)

梅雨の晴れ間、妙見口駅で軽く体操をしてから里道をケーブル黒川駅まで歩き、古い林道を沢沿いに台場クヌギの森を過ぎて大堂越え分岐まで登る。東に折れ、法華経寺を経て、リフト妙見駅のアジサイ公園で休憩を取る。そこから多数の参拝者と合流して広い参拝道を歩き、途中、右に折れ妙見山山頂（660m）に登る。

空いた東屋で昼食を摂り、能勢妙見山本堂に参拝をすませます。初谷溪流コースに下る途中、鳥居をくぐり、車道から初谷出合いの林道に入ると、小さな沢に合流。蒸し



暑い樹林帯を沢沿いに、約40分12回の渡渉を繰り返して大堰堤の広場で休憩を取る。

それからは、渓谷と川に変わり、里山から家族連れでキャンプと、水遊びのグループが自然林の中で虫取りや魚取りをして、休日を楽しんでいる。思わず、30年前の懐かしく楽しい思い出が蘇る風景でした。登り始めに見た、日本一の里山能勢町の看板通りの、近場の里山の自然が楽しめた山行でした。

（記：林弘文）

自主山行 北アルプス 蝶ヶ岳 2,677m・常念岳 2,857m

【日程】7月1日（日）～4日（水）

【参加者】L中・玉越・橋本（計3名）

7月2日（月）蝶ヶ岳（2,677m）晴れ

【ｺｰｽﾀｲﾑ】上高地バスターミナル(6:10)～明神分岐(7:05)～徳澤園(8:00/20)～昼食(11:10/30)～長堀山2565m(12:25)～蝶ヶ岳ヒュッテ・蝶ヶ岳(14:00)

上高地に着くと1年が一番日が長いこの時期、すっかり日が高くなり青空の中、美しい梓川を眺めつつ出発。森の道を明神分岐から徳沢までは道幅も広くアップダウンがないので、話しながら楽しく歩きました。徳澤園からは樹林帯の急登になりました。長い展望のない道が続きますが、さすがに人気の山で良く整備された登山道ながらも息の上がる登りでした。ゴゼンタチバナの小さい花が迎えてくれ、その後もイワカガミ、満開のナナカマド、ひっそりと咲くエンレイソウと様々な花に出会うがその他の花の名に無知なことが残念でなりません。急で我慢の1000mの上り、遂に一人、足がつり休憩が多くなりました。長堀山に着く前に昼食を





とることになりました。頂上に近づくにつれてぬかるんだ所が多くなり疲れもピークになったころ妖精ノ池に着きました。まわりは、お花畑！可愛い花々に慰められました。もう少しで稜線の所でまたまた足がつかまりました。Tさんに小屋まで先に上りザックを置いて引き返して、荷物を担いでもらい、Nさんは空身で15分間歩き、なんとか全員で蝶ヶ岳ヒュッテに着きました。頂上付近に雲がかかっているものの雄大な穂高の山々が一望でき息をのむ眺望に全員痛さも疲れも忘れました。ふと見ると近くに頂上の標識が見えます。時間も早いので、みんなで小屋にザックを置いて頂上へ5分も歩くとならかな広場のような地味なピークを全員で踏みました。(記:中昌子)

7月3日(火) 常念岳(2,857m) 晴れ時々曇り

【J-タイム】蝶ヶ岳ヒュッテ(6:40)~横尾分岐(7:05)~蝶ヶ(7:30)~P2592(8:45)~2,700m 付近にて昼食(11:10/11:40)~常念岳頂上(12:15/12:20)~常念岳小屋(13:30)



2日目は、蝶ヶ岳~常念岳へと歩く。徐々にモルゲンロートに染まる穂高連峰を堪能し、しばらくは気持ちの良い稜線歩き。蝶ヶ岳ヒュッテ周辺には、高機能が備わったカメラを持った方々が多くシャッターチャンスを待っておられる。「重たいカメラを携えて登り辛い」と初めは思っていたが、雄大な山容を見ていると私でも写真を撮りたくなってくる。

蝶ヶからは一旦200m程下る。P2592mまで登り返すと常念岳が見えてくる。その

間にはお花畑があり色々な花が咲いていた(ニッコウキスゲ、イワカガミ、深山キンポウゲ等)。山桜、ソメイヨシノもまだほんの少しだが花が残っていた。その先は厳しい岩ガレガレの登りが続く。赤ペンキでルートは示されている。しかし、私たちが登る方からは途中見つけにくいところが何箇所もあった。一度違う方向に行ってしまう「これはなんか変」と感じ、最後に見た印まで下りルートを探して登る事もあった。

とにかく慎重に登り、岩が集まってできた常念岳頂上に着く。頂上から少し下ると常念小屋がすぐ見える。「もう少し!!気を付けて下ろう」と皆で声掛け合う。しかし、登山道はガレ場、ザレ場。九十九折れを下っていくが、小屋は見えてはいるのになかなか辿り着けないといった感じだった。歩行時間は短いけれど気の抜けない一日だった。穂高側から見た稜線がとても綺麗だったので、今回楽しみにしていたが、やはり厳しい山だと思った。



小屋のテラスからは昨日とは少し角度の違った槍ヶ岳、穂高連峰が眺められる。今日一日の健闘を称え乾杯!!

夏山シーズン前でもあり、又平日だったこともあって蝶ヶ岳、常念岳の小屋は空いていて、とてもゆったりと過ごすことができた。お花も一杯咲いていて本当にいい時期に来られたなあと思いました。
(記：橋本紀子)

7月4日(水) 雨

【J-ｽﾀｲﾙ】常念小屋(6:40)～胸突八丁(7:35)～王滝ベンチ(9:00)～山の神(9:45)～ヒエ平登山口(10:00)

窓を叩く雨の音で目を覚ました。カッパを着ての下山を覚悟する。沢沿いを下るため、雨量が心配だったが、風は強いものの細かい雨で午前中の下山には支障がなさそう。常念小屋は常念岳と横通岳の間の常念乗越にあり、風が特に強い。小屋から稜線の反対側の下山口へ向かうほんの数メートルの間に、強い風にあおられて転倒してしまった。最終日、3時間程度の行程とはいえ気を引き締めて下山を開始する。



一ノ沢沿いのこのルートは主に樹林帯を通る。歩荷でも使用するのか登山道は整備されており傾斜もきつくない。沢を渡渉する場面もあるが、要所にはしっかりした丸太橋がかかっている。

しかしこの丸太橋も大雨の時は水の中に沈んでしまい通行できなくなる。雨がやんで5時間ほどしたら水位が下がる可能性はあるが、そのようなときは引き返す方が賢明だと小屋



番さんがおっしゃっていた。また一か所雪渓を歩くところがあるが、アイゼンは必要なかった。これも事前にメンバーが小屋に確認してくれていたため、落ち着いて通行できた。

王滝ベンチまで来ると登山道はさらに広く歩きやすくなる。下山口近くにある山の神で、今回の山行で素晴らしい景色を堪能できたこと、怪我なく無事下山できたことを感謝する。ヒエ平の登山口に到着し身支度をしていると、小屋

から予約したタクシーが迎えに来てくれた。

(記：玉越啓子)

★反省点

- ・初日は1000m近い上りで全員が疲れ気味であった。近畿の山との大きさの違いを再認識した。
- ・余裕を持った計画で2日目、3日目とも午後2時までには小屋に入ることができた。

★参考資料

- ・長野県警への登山計画を提出すると到達番号と問い合わせ番号がPCに送られてくるので山行管理者、会長と共有する必要がある。
- ・常念岳から三俣へは、難所が多く死亡事故もあり下山する時は小屋の人に相談して欲しいとのことでした。

(記：中昌子)

2018年度 第3回運営委員会議事録

【日 時】2018年6月27日(水) 19:00~19:30 事務所

【出席者】島崎・林・野路・亀高・中・田中悦・都築

・ココヘリの導入について

島崎会長よりココヘリについて説明。ココヘリとは Authentic Japan(株)が運営する遭難者検索システム。電波を発信する会員証をレンタル。搜索要請に基づいて提携先のヘリ運航会社(2社)が搜索し、遭難者が携帯する会員証が発信する位置情報を特定し、救助組織(県警等)に連絡してくれる。

数km先のヘリから会員証の発信を探知可能で、遭難者の発見が早くなるのが利点。1口当たりの年会費(レンタル料)は3,650円。労山加盟団体は入会金3,000円が無料。西大和山の会として2口入会し、会長と山行管理者が会員証を管理する。山行Lは2人のどちらかの会員証を借り、会員証のID番号・ココヘリ搜索要請窓口03-5418-7227を山行計画書に記載する。

⇒以上の説明で採決した結果、賛成7票、委任1票で承認される。

以上

室内例会だより

【日 時】2018年6月27日(水) 19:30~20:40 事務所

【出席者】田中悦、島崎、田中初、林、勝尾、玉越、橋本、亀高、野路、中、杉森、上田、永井、岩田、都築(記録)

1. 山行計画

7月 1日(日) 例会山行1 北摂の山《妙見山》660m……………L 永井
7月 8日(日) 例会山行2 比良山系最高峰《武奈ヶ岳》1214.4m……………L 野路
7月 15日(日) 例会山行2 大塔山地《百間山溪谷》999m……………L 田中悦
8月 19日(日) 例会山行1 武田尾・宝塚《武庫川峡谷・大峰山》……………L 中

★7月・8月の夏山自主山行予定

7月 1日(月)~4日(木): 蝶ヶ岳~常念岳(北アルプス) L 中
7月 16日(月)~22日(日): 会津駒ヶ岳~燧ヶ岳~尾瀬ヶ原~至仏山(尾瀬)……………L 野路
8月 5日(日)~8日(水): 西鎌尾根~槍ヶ岳~大喰岳~中岳~南岳(北アルプス)……………L 島崎
8月 15日(水)~19日(日): 燕岳~大天井岳~常念岳~蝶ヶ岳~徳本峠(北アルプス)……………L 亀高
8月 24日(金)~28日(火): 室堂~龍王岳~越中沢岳~薬師岳~折立(北アルプス)……………L 藤井

2. 山行報告

5月 27日 例会山行2 大峰山脈《行者還岳》L 藤井……………13名
6月 3日 例会山行1 (県連クリーンハイク) 金剛山地《葛城山》L 亀高……………(会員13・一般4) 17名
6月 5~10日 自主山行 九州の山《由布岳・九重連山・祖母山》L 橋本……………3名
6月 17日 例会山行2 鈴鹿山脈《仙ヶ岳》L 林……………12名

3. 連絡その他

★本会より

- ・夏山のLは、所轄する県警に登山届を提出すること。
- ・ココヘリ(運営委員会で承認済)は、申請する。
- ・公開山行については、70歳以下で会長にメールで申し込みが必要。保険は1,000円。参加費は300円
- ・藤井さん、杉村さんは、ご主人がご病気のため室内例会と山行をしばらくお休みされる。
- ・8月5日~8日の夏山自主山行・西鎌尾根のLは、杉村さんから島崎さんに変更。

以上

西大和つうしん

第 434 号 (2018 年 8 月号)

2018 年 7 月 25 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

[http : //www.nishiyamatoyama.com/](http://www.nishiyamatoyama.com/)